



外国出張報告書

平成 26 年 8 月 4 日

1. 出張国名 パラグアイ、ブルキナファソ
2. 出張月 平成 26 年 6 月～7 月
3. 出張目的 関係機関との協議、植林および樹木炭素蓄積量ベースライン調査の促進、
対象村での現地調査活動状況の確認：A

4. 成果の概要

(1) 関係機関との協議（パラグアイ）

パラグアイで形成するプログラム CDM について、調整および管理を行う主体を構築するため、農牧省、国家森林院、アスンシオン大学、カアグアス大学と協議し、各機関の役割等について確認した。

(2) 植林および樹木炭素蓄積量ベースライン調査の促進

苗木生産、配布、植林実施にかかる進捗状況を確認した。植林実施状況は年度予定面積の約 33%程度に達した。今後の苗木生産を見通し、播種作業の体制を強化した。

樹木炭素蓄積量ベースライン調査における、調査状況を確認した。

(3) 関係機関との協議（ブルキナファソ）

ブルキナファソ環境持続開発省次官と共同研究覚書(JRA)について協議し、合意に至った。

(4) 対象村での現地調査活動状況の確認

植林およびアグロフォレストリー技術を展示するための展示圃場の整備状況を確認した。